

# JBSA お知らせ

No. 4 2009

11月4日  
学会事務局

〔お知らせ〕

## お知らせ

第9回学会総会・学術集会についての「集會事務局」  
からのご案内

すでに前号にてご案内させていただきましたが、第9回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会を、賀来満夫学会長（東北大学大学院 医学系研究科 感染制御・検査診断学分野）のもと、平成21年12月10日（木）・11日（金）の2日間にわたり仙台国際センターにて開催いたします。

今や感染症の問題は医療関連施設にとどまらず、広く地域社会全体の危機：クライシスと認識されるようになってきており、すべての医療関連施設はもちろんのこと、地域全体の感染症に対する危機管理体制の構築が不可欠な状況となっています。その中で、社会におけるバイオセーフティ対策もますます重要性が増しております。

本学会では、特別講演としまして長崎大学名誉教授の松本慶蔵先生に「感染症の過去・現在・未来」についてご講演頂くほか、第二波の発生が懸念される新型インフルエンザに対応すべく、「新型インフルエンザシンポジウム」を開催致します。また、海外からの招聘講演やランチョンセミナー、4つのセッション（施設・動物実験、アジア各国におけるバイオセーフティ、消毒と滅菌関連、医療機関におけるバイオセーフティの実際）、一般演題（口演・ポスター数題）も予定しております。その他、新しい取り組みと致しまして、感染症臨床の実際についてのベシクレクチャー「感染症クリニカルマネジメントの実際」も開催いたします。

今年度も2日間にわたり、十数社の企業からのご協力のもと、バイオセーフティ関連の機器、病原体輸送器材などの展示も行います。

本総会・学術集会が、社会におけるバイオセーフティのより一層の向上につながりますよう、万障お繰り合わせの上、多数の方にご参加頂けますようお願いいたします。

以上、総会・学術集会事務局より

本お知らせにプログラム（案）第二報を掲載いたしますのでご確認ください。

今回、郵便払込票（集會参加費、懇親会費）をお送りいたします。会員の参加費は1万円です。10日に会場内で懇親会を行います。懇親会費5千円です。他に、学会・懇親会出欠連絡用FAX送信票及び会員名簿を同封いたします。出欠については**11月13日（金）**までに第9回集會事務局へFAX送信お願いいたします。懇親会の参加人数を連絡する必要上、期日を厳守して下さるようお願いいたします。

## 今回のお知らせでの送付内容：

1. 郵便払込票（集會参加費、懇親会費）
2. 出欠連絡用FAX送信票
3. 会員名簿2009

## 学会費納入

2009年度（1月-12月）の年会費 5,000円（正会員）、30,000円（賛助会員）をご納入くださいますようお願いいたします。納入に際しましては、お知らせ2008、No.4にて発送いたしております「払込取扱票」にてご納入ください。

なお、入会金1,000円、2008年度（1月-12月）までの正会員年会費5,000円及び賛助会員年会費30,000円を未だ納入していただけていない会員の方は、同様に「払込取扱票」にてご納入くださいますようよろしくお願いいたします。

## 新規会員紹介

### 正会員

松本 宏子 （財）結核予防会結核研究所  
東京都清瀬市松山3-1-24

杉山 大介 （株）スギヤマゲン  
東京都文京区本郷2-34-9

## 第9回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会プログラム(案) 第二報

[第1日目 12月10日(木)]

会場	橘		桜	小会議室
12:00～	受付開始			理事会
12:55～	開会の挨拶			
13:00～	セッションI (60分) 施設・動物関連	1. 日立製作所トータルソリューション事業部 (バイオセキュリティ関連) 2. 日立プラントテクノロジー (動物施設関連) 3. 安全キャビネットの型式認定制度 (日本空気清浄協会)	ポスター 機器展示	
14:00～	コーヒーブレイク (30分)		*	
14:30～	特別講演 (60分)	感染症の過去、現在、未来 (松本慶蔵先生)		
15:30～	総会 (30分)			
16:00～	新型インフルエンザ シンポジウム (120分)	基調講演: 新型インフルエンザウイルスの特徴 (感染研 岡部先生) 衛生研究所(仙台市衛生研究所 (仙台市衛生研 吉田先生) 医療施設における取組み (国際医療センター 加藤先生) 地域における取組み (東北大学 國島広之先生) ディスカッション		
18:10～	懇親会			

[第2日目 12月11日(金)]

会場	橘		桜	小会議室
9:00～	一般演題 (90分)	一般演題 5題 1題15分		
10:30～	コーヒーブレイク (30分)		*	
11:00～	セッションII (80分) アジア各国のバイオ セーフティ	中国、韓国、台湾を予定	Poster Discussion (9:00 ～10:00)	
12:30～	ランチョンセミナー (60分)	バイオテロリズムとバイオセーフティ(防衛医大 加来浩器先生)	ポスター	
13:30～	招請講演I (30分)	ベトナムにおけるバイオセーフティ(Dr. Thuy)	機器展示	

14:00～	セッションⅢ (40分) 消毒と滅菌関連	1. 消毒薬の適正使用 (山形大学 白石正先生) 2. 新規滅菌技法 (福島医大 金光敬二先生)	*	**
14:40～	コーヒープレイク (30分)			
15:10～	セッションⅣ (60分) 医療機器関連	1. 一般呼吸器内科としてのバイオセーフティ(坂総合病院 高橋洋先生) 2. 特殊検査(野兔病など)におけるバイオセーフティ(福島医大 大花昇先生) 3. 坑酸菌におけるバイオセーフティ(東北大学 菊地利明先生)		

\*

コーヒープレイクの時間を利用しベシクレクチャーを行います。プロジェクターを使用いたします。  
(会場 桜)

10日 14:10～14:25

感染症クリニカルマネジメントの実際1

11日 10:10～10:25

感染症クリニカルマネジメントの実際2

11日 14:10～14:25

感染症クリニカルマネジメントの実際3

\*\*

各国代表の意見交換会 (会場 小会議室)

11日 14:10～15:30

第9回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会事務局

(第9回集会事務局)

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星稜町1-1

東北大学大学院 医学系研究科

内科病態学講座感染制御・検査診断学分野

Tel: 022-717-7373 (代表)

Fax: 022-717-7390

Email: masumitsu-h@m.tains.tohoku.ac.jp (八田益充)

2kuni@mail.tains.tohoku.ac.jp (国島広之)

学会事務局: 国立感染症研究所バイオセーフティ管理室内

杉山 和良

〒162-8640 新宿区戸山1丁目23番地1号

TEL 03-5285-1111 FAX 03-5285-1184

E-mail ksugi@nih.go.jp

<http://www.nih.go.jp/niid/meetings/jbsa/gakkaiannai03.html>